
光の中で

家庭科係

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

光の中で

【Nコード】

N3201F

【作者名】

家庭科係

【あらすじ】

隕石の落下で光に包まれた1週間の話

Flash 1 事故、そして始まり

「地球は、蒼い」・・・と言った人がいたが実際は、というよりも今は

「地球は蒼い」なんて言えないことになっている。

なぜなら今はもう地球は“何か”になってしまったからだ

その、“何か”は一つの隕石による影響である、その隕石の破壊力
は無いに等しい位に近かったのだが、隕石の衝突したところがロシ
アにある日本とアメリカで協同で作っていた、HPMに墜ちてしま
ったからだ。HPMは物を壊すためのものではなく高光度の光を放
つもので、つまり閃光弾の強化版のようなものである。それでそこ
にあったHPMは全てに火が点いてしまい、そこにいた人達は全員
当然失明してしまった。

しかし、光とはなんとも恐ろしいもので、皆さんは光の速さはどれ
くらいか知っているでしょう。一秒で地球を七周半もするので、そ
の光は今も地球を周りに続けている。

なぜ、“何か”という表現なのかは世界中の衛星が全て光以外何も
映さないからだ。

そして、それを期に世界中で犯罪が広まっている。それはもちろん
日本でも起きている。

Flash1 事故、そして始まり（後書き）

初めての投稿なので感想お願いします。

Flash 2 闇の中、そして光の中（前書き）

忘れてましたが、登場人物の名前は、勝手に着けて下さい。

もしくは、感想に書いていただければそれを使いたいと思っているので、感想お願いします。

あと、主人公のプロフィールを

年齢 十六歳

性別 男

血液型 A型

誕生日 3月22日

星座 牡羊座

身長 168cm

体重 68kg

家族構成

父 母 兄 姉 自分 妹

Flash 2 闇の中、そして光の中

「眩しい」と誰もが口々に言っただろう。それは、普通の感覚だろう。馴れる！って言われても無理だと思うし、こんなに眩しいと目がおかしくなりそうだ。

だが俺は今その眩しさに馴れようとしている。けど、馴れたとしても遠くは見えないだろう。そして俺はここに見覚えがない、ただひたすらに真っ白なところにいる、周りには人の気配があるのが見えない、あと俺は何か透明な物に座っている。そして1番分らないのが俺の体が見えないことだ。

たしか、俺は学校で昼飯を食っているはずだったんだが。

俺はM2風に、

「私は何故此处にいるのだろうか？」

そして、どこからかわからないが

「知らない」

と返ってきた。

俺は少しだけ安心した、誰も居ないのかと思っていたからだ。

しかし、疑問が一つ増えた今の声は俺のクラスの女子の声だ、しかも後ろの席の声だった。そうすると、ここは学校なのか？という疑問が生まれてくる。

だが、俺はこんなところ知らないしなと思って、いつもの癖で左手を頬にあてようとした時、俺の頬に何か暖かいものがついた気がした、そして、手を鼻に近づけようとした瞬間、パン——と乾いた

音がしたと思ったら、俺の左の脇に激痛が全速力で走った、俺はとつさに脇を抑えたが、そんなの関係無しに意識は遠退いていった、そして遠退いていく意識の中で、
「なんなんだよー」と叫んでいた。

俺は、夢を見た、それは俺は家族や友達が見えない誰かに殺されていき、最後に自分が殺されそうになる夢を、夢が覚める前に俺が何か言おうとしていたが、怖くて聴けなかった。

俺は目が覚めると保健室のベッドで寝ていた、そのとき俺は隣のベッドで寝ている人に気が付かなかった。俺はベッドから降りると自分の体が見えることに気付いた、制服の脇のあたりが赤く染まっていることにも。

そして俺は不思議なことに気付いた部屋の窓ガラスが全て黒いペンキで塗り潰されていた、何故塗り潰されているのかと思って窓ガラ

スについた黒いペンキを少しだけ剥がした、その瞬間俺は何が起きたか分からなかった。

剥がした部分から入ってきた光はあり得ない入りかたをしたからだった、普通真っ直ぐ入ってくるはずなのに、光はいろんな方向から入ってきたからだ、俺は慌ててそこをガムテープで塞いだ。

そして俺は保険医の先生が戻ってくるのを待つことにした。

Flash2 闇の中、そして光の中（後書き）

感想お願いします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3201f/>

光の中で

2010年11月23日04時38分発行